



平成24年度も、いよいよ最終月となりました。…というか、年が明け、平成25年もすでに3ヶ月が過ぎようとしています。皆さんは、この月日の進み具合を「早い」と感じるか「遅い」と感じるか、どちらでしょう。私の場合、一日一日…というより、一年が過ぎるのがやけに早く感じるようになりました。歳のせいでしょうか？



さて、3月は別れの季節でもあります。幼稚園、小・中学校、高校では、それぞれ卒園式・卒業式も終了し、子どもたちにおいては、次のステップに進むための準備を進めていることと思います。

町教委においても、羅臼町郷土資料館 涌坂館長が3月末を以て定年退職となります。36年間という長きに亘り、町内埋蔵文化財の発掘をはじめ、羅臼の歴史資料や生活資料の収集・保存、オホーツク文化に関する調査・研究、野生生物の保護活動などに携わり、知床らうすの貴重な財産を広く町内外に発信してこられました。

退職にあたって、涌坂館長より町民各位にメッセージが寄せられていますのでご紹介させていただきます。

退職の御挨拶

昭和51年7月、羅臼高校の改築に伴う発掘調査以来、36年を越える年月をこの町で勤務させていただき、その間、18ヶ所の遺跡の発掘調査に携わってきました。中には松法川北岸遺跡や植別川遺跡など、学史に残る調査にも関わることができ、本当に幸せな学芸員生活をおくらせていただいたと感謝しております。特に松法川の堅穴住居は火災を起こした住居で、内部には家屋の構造材や多量の木製品がそのままの形で残されていました。古代の堅穴住居という質素なものを浮かべがちでしたがその想いは完全に粉碎され、現代のログハウスに見劣りしないものであることがわかってきました。膨大な量の遺物とともに確認されたこの住居は、知床の森とオホーツク海の生産性の高さを端的に物語るものであることを強く感じた次第です。

三月末で退職とはなりますが、時間の許す限り、この海の豊かさとそのよさをもたらされた数千年間にわたる人類の足跡を外に向けて発信していくお手伝いをさせていただきたいと思っています。



若かりし頃、未熟な学芸員を温かい目で見守っていただいた町民の皆様にご心より感謝申し上げますとともに、昨年10月に郷土資料館に赴任いたしました若い学芸員にも私同様の手を差し伸べていただくことをお願いして退職の挨拶といたします。ありがとうございました。

羅臼町郷土資料館 館長 涌坂周一

涌坂館長、長い間お疲れ様でした。今後も、羅臼町のよき応援者としてご指導・ご協力を宜しくお願い致します。

涌坂館長退職の話題につづき、郷土資料館に関わって“人と人がつながる”うれしい話題を2つお届けします。

その1) 郷土資料館ボランティア説明員研修

郷土資料館の多忙期、夏季全日開館時の土・日曜日の職員休日の際に、資料館の展示解説を目指す、ボランティア説明員の養成講習会を峯浜町内会を主体に1月より計3回開催しました。

講習会は1回2時間程で、展示物を前に館長から説明を受けました。また、講習会とは別に、事前に団体客の予約がある場合は、職員の解説に同行するなどの活動が行われています。参加者からは羅臼町の歴史がよくわかったと好評でした。

4月以降も展示解説を目指して活動が行われる予定です。

その2) 大正期の自動販売看板

この度、郷土資料館が収蔵している自動販売看板を峯浜在住の漁師さんの手によって修理して頂きました。

この自動販売機は、大正の終わり頃に製造されたもので、当時流行った「のんきな父さん」というマンガキャラクターが描かれています。国内で1,000台ほど製作されたと言われており、国内初の普及型自動販売機です。1銭硬貨を投入すると、その重みで内部のプレーキが解除され、ゼンマイ仕掛けでチンチンという鐘の音と共にお菓子が出てきます。



資料館には、富士見町の村上商店と本町の古飛商店の店頭で昭和初期頃から設置されていた2台を収蔵しています。



(昭和初期の村上商店)

この内の1台は、郷土資料館2階に展示しています。実際に1銭硬貨を入れて、お菓子を出すことができますので、是非使ってみてください。

また、どんなお菓子が入っていたとか、当時のことを知っている方がいましたら、郷土資料館(TEL 88-3850)までお知らせ下さい。

平成25年度教育費予算の概要

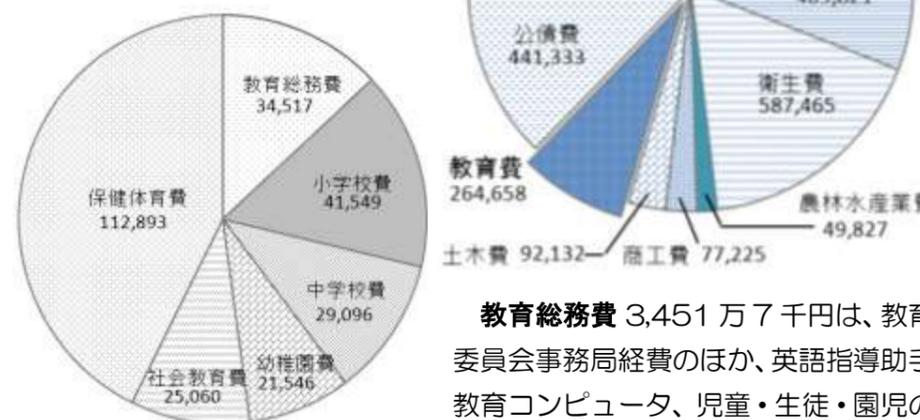
去る3月8日～15日、今年度第1回の定例町議会が開かれ、平成25年度の各会計予算が可決しました。後日、町広報紙にて詳細のお知らせがあるかと思いますが、平成25年度教育費の主な内容をご紹介します。

平成25年度一般会計の総予算は、34億1,817万3千円です。

(右グラフ参照：単位千円)

このうち教育費は、2,645万8千円で、予算総額の7.7%にあたります。

教育費の内訳を次のグラフで見ましょう。



教育総務費 3,451万7千円は、教育委員会事務局経費のほか、英語指導助手、教育コンピュータ、児童・生徒・園児の検診等に要する経費、教員の研修充実のための経費、中高一貫教育に要する経費に加え、平成25年度から園児・児童の体づくり・運動能力向上を願い、幼稚園(年長児)と小学校(1・2・3年生)を対象に、体育授業にコーディネーション・トレーニングを導入する経費を新たに措置しています。

このトレーニングは、今まで「運動神経がよい、悪い」と一括りで決めつけてしまいがちな運動能力を、7つの視点から見て多様な運動を行うもので、脳と神経の回路を刺激することで、どんなスポーツにも必要となる能力、いわゆる「自分の体を巧みに動かす能力」が総合的に身につくといわれているもので、「やる気(意欲)」や「他者とのコミュニケーション能力向上」の効果も期待されています。

小学校費 4,154万9千円並びに中学校費 2,909万6千円は、各学校の管理費(水光熱費等)のほか、備品整備、教科材料費、就学援助に係る経費で、前年度対比では若干の増となっています。

幼稚園費 2,154万6千円は、幼稚園の管理・運営に必要な予算が計上されており、幼稚園教諭の研修充実や産休代替教諭に係る賃金などで前年度より増額となっています。

社会教育費 2,506万円は、ほぼ前年度と同予算で、青少年教育、成人

教育、各種団体への補助金、公民館の管理・運営費、図書室の事業、郷土資料館に係る経費などが計上されています。

保健体育費 1億1,289万3千円は、教育費の中の42.3%を占めていますが、そのうち「保健体育総務費」は315万4千円で、各種団体や大会への補助金が主です。また、町民体育館の管理・運営に要する経費は3,087万1千円で、町民から要望の強いトレーニング室の充実に向けたランニングマシンの購入費のほか、25年度から新たに町民体育館の管理・運営に指定管理者を導入する予算が盛り込まれています。

このほかに、総合グラウンドの管理費993万8千円、温水プールの管理費1,002万2千円、給食センター管理費5,873万8千円が計上されています。

引き続き厳しい町財政ではありますが、大切な予算を有効に活用し、子どもたちの健やかな成長と町民の様々な生涯学習活動を支援してまいりますので、ご支援・ご協力を宜しくお願い致します。

むし歯などで炎症が起こると、乳歯の下にある永久歯の芽にまで影響が(°°)!! 炎症が起った乳歯の下の永久歯は、エナメル質や象牙質が変性して、茶色く変色したりもろい歯質になって、歯の形成障害が起ります。



これ、むし歯じゃないんですよ!!乳歯には、将来生えてくる永久歯を守るという重要なミッションがあるんです。

だから乳歯からの虫歯予防がとっても大切。

そして永久歯も、生えだす時はまだエナメル質などの歯質表面が薄くてむし歯になりやすい状態なので、歯質を強くするためにフッ素入り歯磨き剤などを使ってケアしてあげることもポイントです。今年度から幼稚園・小学校でフッ素洗口が始まりましたが、歯の生え変わり時期の子に行うフッ素洗口は、歯の質を強化するという点でとても効果があるんですよ。

でも、むし歯の予防はフッ素を使うことだけではなく、まずは歯磨き!!子どもが歯を上手に磨けるようになるのは、小学校高学年からと言われているので、それまではお父さん・お母さんが仕上げ磨きをしてあげる必要があります。子どもたちの口の中を、チェックしてあげてください。

げっ歯類やサメ類と違って、私たちは永久歯が抜けるともう二度と生えてきません。入れ歯に代替えることも出来ませんが、元気な高齢者の方たちは、自分の歯を持っている(総入れ歯ではない)という事実をご存知でしたか? 一生自分の歯で食べるというのは、長く元気でいられるということ。そのためには、1本でも多く自分の歯があることが条件のようです。



1日でも長く自分の歯で食べられるように、家族みんなで最低でも食事を食べた後・1日3回は歯磨きをする習慣を身に付けましょ☆



以前にも、本紙面で町民各位に問題提起してきていることですが、最近の大人のモラルの低下が子どもたちの今後の成長に与える影響が気になっています。3月の春松「幼稚園だより」に、とても共感する記事が載っていましたのでご紹介します。

大人がよきモデルとなっているか??

有名な言葉に『人間は環境の所産(=作り出されたもの)である』というのがありますが、幼児が育つ上でも環境は最も重要なものです。

大げさに言えば、育つ環境で子どもの生き方が決まります。育った土地や人々の暮らしぶり、親や周りの大人の振る舞いや道徳観などを“見て・感じて・学んで”大人になります。

「子どもは大人の言う通りにやるのではなく、大人のやる通りにやる」のです。つまり、大人の行動をまねるのです。

知床・羅臼の自然環境は幼児にとって最高ですが、人の振る舞いは幼児に最高のモデルとなっているのでしょうか・・・。

気になることいくつか・・・

- 道路を走っていると、明らかに誰かが捨てたゴミの入った袋が投げた袋 (自分の車の中さえきれいであればいい?)
- 除雪で家の前を広くあけた雪が、歩道をふさいでしまっている～車道を歩く児童・生徒 (いつ事故が起きるかヒヤヒヤ)～1mでも歩道を確保する思いやりの気持ちが欲しい
- 参観日～教室の活動そっこのけでおしゃべりする人、とつても迷惑です。(人の迷惑に思いがまわらない)
- 夜遅くまでネットゲームやブログ、ツイッターなどに夢中になり、朝起きできない親・大人・・・



これらの事例は、今の次代では珍しくないかもしれません。でも、羅臼の次代を担う子どもたちが、これらを当たり前のこととしてまねて育つとしたら、とても困ったことです。

私たち大人は、子どもが体も心も健やかに育ってほしいと願っています。そのためには、まず子どもの周りの大人、私たちが子どもにとって良き行動や態度・生き方を見せなければいけません。子どもから見て、よき大人のモデルとして振る舞っているか、あらためて自身に問いかける必要があります。

・・・皆さんいかが感じられたでしょうか?

常に他の手本となるような完璧な人間でいることは難しいかもしれません。でも、せめて子どもたちには「愛」をもって、良き“親・大人”としての行動を見せていきたいものです。



あとがき・・・

羅臼小学校の卒業式をのぞいてきました。6年間の学校生活の中で、それぞれに成長した子どもたちの晴れ晴れとした、そして少し緊張した誇らしい顔を見たとき、その陰で子どもたちを一生懸命育てて来られた保護者の努力も思い浮かび、思わず目頭が熱くなってしまいました。

3月22日は町内各幼稚園、小・中学校は修了式です。短い休みに入りますが、休み中は、くれぐれも事故等のないよう気をつけて生活し、それぞれ次のステップを元気に迎えてください。保護者・地域の皆様も、この休み中、子どもたちの安全・安心を温かく見守っていただきますよう、宜しくお願いします。



シリーズ「栄養士からの情報提供」-No.7-



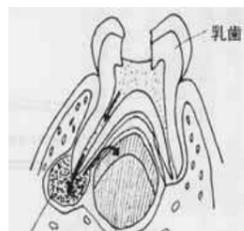
続・お口の中、チェックしていますか?

以前の『もやい (No.3: 昨年9月10日発行)』にも、掲載していましたが、皆さん覚えていますか～?。おクチも消化器官、臓器なので、全身の健康管理のために歯のケアって大切なんですという内容でした(^ ^)

さて、今回はパート2。私たち人間=哺乳類は乳歯から永久歯に1度だけ歯が生え変わります。乳歯は生え変わるから・・・という理由で、一昔前まではむし歯になっても放っておかれる存在でしたが(今も?!)、乳歯にも重要な役割があることはご存知でしたか?

まずは「お喋りのための器官」として。特に前歯は発音の要(かなめ)。入れ歯を外したおじいちゃん・おばあちゃんの話す言葉って、ちょっと聞き取りにくいですね。コミュニケーションを上手に取るためにも、歯は大切です。特に幼児の口は大人に比べると小さいので、発音のことプラス何でも食べられる咀嚼力(そしゃくりょく=噛む力)も要求されます。

むし歯になったり、生え変わり前に歯を抜くようなことがあると、噛む力はとても弱くなります。特にひどいむし歯の子は噛む力が弱くなるのが影響して、低体重で免疫力が低下し、風邪などの感染症にかかりやすい子どもになるということが研究で明らかになりました。



歯の炎症 永久歯の芽

“食べ物食べられない”という栄養面の問題以外にも、乳歯がむし歯になると永久歯がブサイクに生えてくることもあるって知ってました??